

女川町出島漁村支援・小屋建設プロジェクト2012

活動地:宮城県牡鹿郡女川町及び出島

活動内容:小屋(倉庫、作業場、悪天候時の避難所、島民の集会所)の建設・塗装、風除室建設、その他必要に応じてがれき撤去、草刈り、清掃などのコミュニティ支援

背景:女川町出島では、地震と20m近い津波により、1m近く地盤が沈下した上に、住宅はほとんどが倒壊してしまいました。島民650人の内、5%近くの方が亡くなり、島内唯一の学校も閉鎖。島外避難が解除された今でも、未だ多くの島民が仮設住宅での生活を余儀なくされています。

震災前は、島民の多くがホヤの養殖で生計を立てていましたが、震災の影響を受け、養殖場が壊滅。ホヤは養殖から漁ができるようになるまで4年近くの月日を必要とします。1日でも早い島の復興を目指し、島民はワカメなどの養殖を開始。しかしながら、漁具を保管する適切な場所がなく、大切な漁具が雨ざらしに保管され、漁具の破損が多く見受けられています。そのため、島民からは漁具の置き場、作業場となるきちんとした小屋が必要という声が多く寄せられています。

ハビタットは、安全で丈夫な小屋を建設することで、漁業従事者を支援し、女川・出島のコミュニティの再結成と再活性化を図ります。



建設予定の小屋

女川港から出島まではフェリーで約1時間



日程(3日間)	
1日目	18-22時 各自でハビタット多賀城オフィス集合 オリエンテーション後、就寝
2日目	朝、車で女川港へ移動 女川港からフェリーで出島へ(約1時間) 到着後、終日活動、番屋に宿泊
3日目	朝から活動、午後活動終了し、フェリーで女川港へ 港から車で多賀城オフィスへ 18時 解散



小屋建設予定地の一例

参加費:10,000円

※ボランティア保険、現地での移動、滞在、食費(2日目の朝昼夜、3日目の朝昼)はハビタット・ジャパンにて手配します。

※支払は現地到着後に行います。

持ち物:

作業時:

- 長袖、長ズボン
- 防水ヤッケ(上下)、レインコートなど(※必須。雨天時の作業用)
- ワークブーツなど作業に適した靴
- ゴム張り手袋(重い木材を運んだりするため、ゴム付き手袋が望ましい)

その他:

- 寝袋
- 衣類(多めに。夜は冷えるので防寒着も)
- タオル(バスタオルや作業中汗を拭く等のために使うタオル)
- 帽子、日焼け止め(熱中症対策)
- 水筒・ペットボトル(作業現場に持って行く飲料水をいれるための容器)
- 汗ふきシート(島には入浴施設がないため)
- ウェットティッシュやアルコール消毒液(昼食時に手洗いができないこともあるため)
- 非常食、携帯ライト(島には街灯がないため)
- 健康保険証(回収はいたしません但し携帯ください)
- オリエンテーションハンドブック
- その他自己完結にあたり必要なもの(電池、トイレトペーパーなど緊急時に必要なものは各自の判断でお持ちください)



出島の宿泊施設



注意点:

- ・島にはお風呂・シャワーはありません。
- ・雨天時活動内容が変更になる可能性があります。



ハビタット・フォー・ヒューマニティ・ジャパン
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-13-11
CHARI千駄ヶ谷401
TEL: 03-6459-2070 FAX: 03-6459-2071
E-mail: info@habitatjp.org
<http://www.habitatjp.org>